

司書のすすめる本シリーズ ②0



『レガッタ! 水をつかむ』
濱野京子/〔著〕 講談社 201206
高校3年の姪がいるのですが、彼女が物凄い勢いで本を読んでいた時期がありました。アイドルが好きで、彼らが主演する映画やドラマの原作まで読み、中学で東野圭吾作品も読破しました。高校に入ると、あまり読まなくなったそうですが、たまに自分の携帯から、「感想文の宿題にいい本ない?」「面白い本ない?」と聞いてきます。この本は、彼女が高校のテニス部に入部したてのときに渡した本でした。

舞台は女子高のボート部。主人公の有里は、新入部員のなかで一番うまくなりますが、周囲をうまくとけこめずにいました。また、家族とぶつかったり、先輩にライバル視されたりと、友情や家族を通して成長する高校生姿が描かれています。

姪には、続編まで渡しました。すると、3ヶ月後、「レガッタ3で感想文書いているけど、うまく書けない」との連絡が。なぜ3巻?! と思いつつ、全巻読んでくれたことがわかり、嬉しかったです。

この3月で彼女は高校を卒業し、福祉の道に進もうとしています。『しろくまちゃんのほっとけーき』を繰り返し読んでいた女の子が成長していく姿は、わが子の成長とは違った喜びを感じます。私も「いい本ない?」に答えられるよう頑張ります! (小山亜紀子)

はたらく数学



『はたらく数学』25の「仕事」
でわかる数学の本当の使われ方
篠崎菜穂子/著 日本数学検定協会/監修
日本実業出版社 2015

数学が苦手な人にとっては、難しいのに実際の生活でどう役に立つのかわからないために余計に勉強をするのがつらい、という面があります。果たして、学校で勉強する数学の知識は実生活に役に立たないのでしょうか?

コンビニエンスストアの店長がより立地や時間帯に合う品揃えをめざす、パティシエが新商品を売り出すために作る人気商品とのセットの最適な組み合わせや数量を考える、ウナギを絶滅させないよう水産技術者が未来の数の変化を予測する……このようにさまざまな仕事で、数学の知識が役立つ場面があるのです。

また、パスタとソースを両方ともおいしくできたてで食べるための段取りを考える、2種類のストールの巻き方を変えて手持ちの服と組み合わせることで何通りのコーディネートになるか……など、専門の仕事に携わっている人だけでなく、わたしたちの日常生活でも数学が役立つ場面も紹介されています。

このように身近な、あるいは興味深い場面で意外と役に立つことがわかったと、苦手な人でも数学に対する距離が少し縮まるかもしれません。(高原理津子)

ファン倶楽部メンバーからのオススメ本



『てをつなごう』
高原かずき文 永井みさえ絵
名付け親：こどもたち
【えほん de みらい】という活動から生まれた絵本。ほんのちょっとでいいんだ 自分の笑顔を想像してみよう』と、今や昔が辛く大変でも、明るい未来を信じてほしくて・・・そんな願いをこめて児童養護施設の子供達と一緒に作った絵本です。活動の詳細や絵本については【えほん de みらい】で検索をお願いします。(高原)



『ルポ 居所不明児童〜消えた子どもたち〜』
石川結貴・著 ちくま新書 2015年4月刊
住民票があるのに居所がわからない7〜14歳の児童生徒が、日本では累計24,000人もいるという。なぜ彼らは虐げられ、親からも社会からも見捨てられてしまうのか。悲惨な現実を描く著者の怒りの向こう側に、子どもたちへの惜しみない愛情が感じられる、迫真のルポ。(坪内)



『ばいばい、アース』沖方丁著 角川文庫
種族特徴である鱗や角もない、のっぺらぼうの少女ベル。唸る剣で触れる全てを薙ぎ払っていく。己が何者か模索しているうち、国の巨大な神への懐疑を問う。耽美な幻想世界のアクションは凄まじい熱を帯びています。天地明察の沖方丁最初期の作品です。(らら)



『おさるにっき』
和田誠 文 村上康成 絵 偕成社
お父さんが、お土産にくれた子猿モンキチ。モンキチは、だんだん、毛が抜けてきたり、テレビを観て笑ったり、しっぽが短くなってきます。さて、子猿はどうなるのかな? 最後は、予想と違って、きっと、びっくりしますよ。(三田)



『おかあさんがおかあさんになった日』
長野ヒデ子作 アーサー・ビナード訳
童心社 2016年1月15日発売。
ビナードは出産に大関心、名訳よ! そうそうビナードの新刊「もしも、詩があったら」光文社新書は超面白い! カットも自分で描いています。(長野ヒデ子)

※長野さんの新刊
『しょうじき50円分』くすのきしげのり文
廣済堂あかつき刊 これもおもしろいです。(編集)

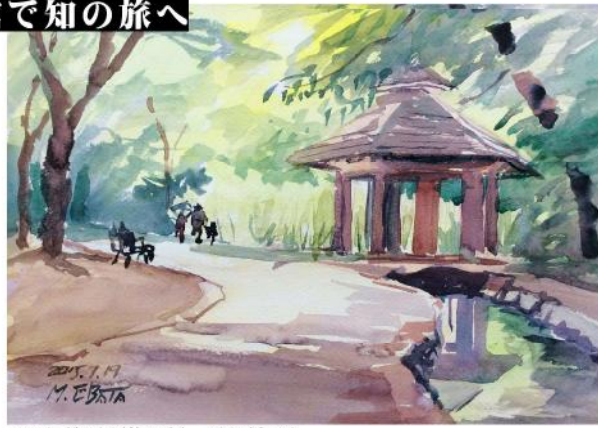


日時 2月20日(土) 14時〜16時
会場 北山田地区センター
定員 30人
申込 12月24日(木) 午前10時から
電話 045-593-8200
受付方法 1月20日(水)より
参加費 400円
又北山田地区センター

作家 山崎洋子さんが紐解く
横浜
事件に
あなたたち

〈講演会のお知らせ〉

図書館で知の旅へ



せせらぎ公園(仲町台) 画:江幡正之

ズで、丁寧なスケッチで描かれた頁をめくるたびに広がるま
ちの風景、所々に隠れている仕掛けに胸を躍らせながら、
沢山のことを想像し、友達との会話を膨らませました。今
でも絵や写真が大好きで美術館に行く度に併設されている
図書室をのぞいています。横浜美術館にも美術図書室があ
りますので、美術の好きな方へはお薦めです。
さて、都筑図書館では、区民協働でのイベントや読み聞か
せ会を実施するなど、常に地域に開かれたものになるよう
様々な取組をされています。我が課が9月に実施した環境
映画上映会の際には、図書館の一角に環境図書コーナーを
設けていただきましたが、今後も連携を深めていきたいと思
っています。
最後に、「つづき図書館ファン倶楽部」の皆様の「図書館に
は、人と人をつなぐ機能がある」とのコメントを拝見しまし
た。区役所も区民の皆様の熱い思いに寄り添えるように、つな
がりを大事にしてがんばってまいりますのでよろしくお願いいた
します。



「旅の絵本」シリーズ
安野光雅絵・福音館書

野光雅氏の「旅の絵本」シリーズ
先にお題をいただいた時、真
”とはちよつと違いますが、”学校
の図書室でよく読んだ絵本のこと
でした。特に好きだったのは、安
野光雅氏の「旅の絵本」シリー

図書館と私

都筑区政推進課課長 田中礼子



絵:長野ヒデ子

■発行: つづき図書館ファン倶楽部
■住所: 〒224-0053 横浜市区筑区
池辺町7003-2-801 若杉隆志気付
tel:080-6739-1139
mailto:wakasugi@c06.itscom.net
http://tsuzuki.libraryfun.net/
■年会費: 一口1,000円
■定例会: 月一回
■つづき図書館ファン倶楽部は
2000年3月都筑区制5周年記念として都筑
図書館が「シンポジウム」を開催。参加した
区民サポーター有志で図書館の価値を広め
る目的で結成しました。



本年度の図書館総合展で「図書館
キャラクター・グランプリ」の「館の
働き者」部門61作品の中で入賞〜!

都筑図書館から行事のお知らせ

- 本の福袋
みなさん推薦の子ども向けの福袋と、図書館員が選んだ大人
向けの福袋を用意します。
期間: 1月5日(火)〜14日(木)
個数/児童・大人向け 各20セット(先着順)
- 区内小学生による読書感想画展示
〜子どもたちが描くものがたりの世界〜
期間: 1/15(金)〜22(金)
会場: 都筑区総合庁舎階区民ホール・都筑図書館
- 18区deYES 温暖化防止月間タペストリー展示
テーマ: 「天気を知り、環境を考える」
会場: 都筑図書館 協力/横浜市温暖化対策統括本部
期間: 1月15日(金)〜29日(金)
- 大人のためのおはなし会(都筑図書館司書による)
日時: 1月15日(金) 午前10時〜11時30分
会場: 北山田地区センター中会議室
定員: 30人。お子様はご遠慮を。先着順
申込: 12月24日(木) 午前10時から
北山田地区センター直接又は電話045-593-8200
- 語りを楽しむ(都筑図書館司書のストーリーテリング)
【中川地域ケアプラザ主催講座「聴く」を楽しもう】
日時: 1月21日(木) 午前10時〜11時30分
会場: 中川地域ケアプラザ 定員: 30人先着順
申込: 12月24日(木) 午前10時から
中川地域ケアプラザ直接、又は電話045-500-9321

- ぬいぐるみのおとまり会〜おはなし会もあるよ〜
ぬいぐるみと一緒にのおはなし会の後、ぬいぐるみたちが都筑図書
館におとまりします。翌日ぬいぐるみの返却と絵本の貸出をします。
日時: 2/11(木・祝)「ぬいぐるみと一緒にのおはなし会」
第1回11:00〜第2回14:00〜(各回同プログラム)
2/12(金)14:00〜15:00「ぬいぐるみお迎え・絵本貸出」
会場: 都筑図書館 対面朗読室
対象: 一人でおはなしが聞ける子
定員: 各回先着12名
申込: 1/14(木) 午前9:30〜 カウンターまたは電話で
- 「昔あそび・わらべうた遊び講座 未来につなげよう」
平成27年度都筑区読書活動推進+都筑図書館20周年事業
日時: 2月28日(日) 午後1時30分〜4時
会場: 都筑区役所6階大会議室
内容: わらべうたの紹介・実習
講師: 田村洋子氏(NPO法人日本わらべうた協会理事長)
定員: 先着30名 申込: 2/12(金) 午前9時30分〜
- 「タンパク質で発電できる?」
理研よこはまサイエンスカフェin 横浜市都筑図書館
日時: 3月12日(土) 午後2時〜4時
会場: 都筑区役所5階大会議室
講師: 美川務氏(理化学研究所生命システム研究センター)
定員: 先着30名 持ち物/飲み物用マイカップ
申込: 2月17日(水) 午前9時30分〜

図書館のあり方が多様になってきています。「どこでも図書館」とか「まちじゅう図書館」とか小さな本のある場所も増えているようです。横浜市立図書館の現実にはさびしいものがありますが(政令指定都市で図書館数も蔵書数も人口比最下位...)。ファン倶楽部メンバーは妄想を膨らませて夢を描いてみました。あったらいいなあ、こんな図書館...

者、教員OB、書店・出版関係者などを加え、図書館協議会のような形骸化しがちな集合体ではなく、地域課題の実効性ある解決を担う運営・経営のプラットフォームを作る。これにより、従来の静的なイメージから脱却して、判断し行動し、これからの地域を創造しうる図書館を実現する。(坪内)

「コミュニティの核となり、情報を提供するだけでなく、発信し、提案する図書館。司書だけでなくソーシャルワーカー、コンサルタント、情報処理技術者、教員OB、書店・出版関係者などを加え、図書館協議会のような形骸化しがちな集合体ではなく、地域課題の実効性ある解決を担う運営・経営のプラットフォームを作る。これにより、従来の静的なイメージから脱却して、判断し行動し、これからの地域を創造しうる図書館を実現する。(坪内)

つづき図書館ファン倶楽部メンバーの
コノゴロ
no
ココロ

私は温泉が好きである。温泉の楽しみ方は人様々であるが、私には二つの楽しみ方がある。一つは、全国の温泉地巡りで既に1500カ所弱の温泉地を踏破している。もう一つは、温泉に浸かりながら本を読むことである。混雑している浴舎では難しうが、鄙びた温泉地では湯船に浸かりながら1時間以上本を読んでいることがある。じわーっと温泉と本の効能が身に沁みてくる。私の妄想図書館は、濡れても問題ない本のある温泉図書館である。(草野)

妄想図書館

子どもの本がある場所は少しは騒いでもいい広い場所。「誰にでも読んであげます」と看板のある木の下にはすてきな椅子があつて、子どもだけでなく誰でも読んであげたりもったり。広いキッチンもあつて今日は宮城県の日とかで、牡蛎入りカレーなんて食べながら話に花が咲いているの。帰りに料理の本を借りよかな。だれでもワクワクしながら集まる広場のような図書館、あったらいいなあ。(江幡)

ナイトライブラリー
が毎晩週替わりであつたらいいなあ。月曜はジャズ、火曜はフォーク、水曜はポップバラード、木曜はマイクはオフで静かめな演奏。司書さんや友人少数とお酒片手に思う存分本の話を。お酒を提供する館内喫茶のマスターは福富さんで、いつでも楽しいブックトークや都筑の最新の話題が聞ける。(原田)

今地球に何十億もの人がいる中で同じ時に出会い共に過ごす人たちがいる。その偶然ってすごいことだと思ふ。そしてもっとすごいのは、図書館には、想像も及ばないほどの多くの人たちの生き様が保存され、私たちを待っている。その声を聞き、心の中で対話する。静寂な中で、喧騒の中で。対話の方法は人それぞれ。対話の中身も人それぞれだ。相手は自由に選べる。妄想、夢想、空想。図書館って時空を超えるすごいシステムだ。(若杉)

家で本を読んでいるところからつと、呼ばれたり邪魔が入る。誰にも邪魔されず、本が読みたい。そこで、おひとりさま書齋付き図書館があつたらいいな。図書館の書棚から、お気に入りの本を何冊か選んだら、鍵付きの扉を開ける。そこには、大きな暖炉に居心地の良いソファの部屋とか、夏の夕方の浜辺とか、雨上がりの公園のベンチが現れる。腰を落着けて本を開いたら、そこからは、自分だけの世界：あらっ、もう夕食の準備の時間だわ。(三田)

アートと本がコラボした図書館
それが私の妄想図書館。例えば、入り口はゴッギヤンのタヒチでの作品「我々はどこから来たのか」我々は何者か我々はどこへ行くのか」の模写が展示され、併せてタヒチを含むポリネシア関連の本、そしてモーム「月と6ペンス」、福永武彦などの関連本が展示されて、次回はルソーの作品と原田マハなど、三か月毎に展示の入れ替えを行い、アート作品と書籍が混在して視覚からも官能する妄想図書館。(田中)

「みゃーご」と「ちゅーず」をブックカバーにしませんか？
都筑図書館ホームページからダウンロードできます。

このごろの... 24
都筑図書館
職員同士で紹介文を見ながら「すごい！」と言っています。ドラマの青春モノでは、主人公が好きなのにすごい力を発揮する場面がありますが、あれは決してフィクションじゃないのです。そんな彼らの熱意を図書館でサポートできるよう、頑張りたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。 杉山ひこの

「はじめまして」
お読みの皆様、はじめまして。都筑図書館に来て、2年目の杉山ひこのと申します。遅れての自己紹介、失礼いたします。
ちなみに竹久夢二の恋人に彦乃(ひこの)という方がいらっしやるので、その人が由来なの？と尋ねられることもありですが、元々「ひこの」(「ヒナノ」とか)という名前前にしようと思っていた中、女の子だし「この」の方が響きがよいから！という理由でつけられた名前です。
担当はティーンズ担当です。12月は川和高校の生徒さんが作成したしおりを頂いて、ティーンズコーナーで展示を行いました。川和高校とは、秋に生徒さんが作成したPOPをお借りしてPOP展も行っておりませんが、しおりやPOPに描かれたイラストのクオリティにいつも驚かされます。12月には中川中の本の紹介展示もありました。こちらのイラストも美しく、職員同士で紹介文を見ながら「すごい！」と言っています。ドラマの青春モノでは、主人公が好きなのにすごい力を発揮する場面がありますが、あれは決してフィクションじゃないのです。そんな彼らの熱意を図書館でサポートできるよう、頑張りたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。 杉山ひこの

都筑図書館 20周年記念事業の今
若杉隆志
◆都筑図書館20周年記念事業は、前年のプレイベントに続き、誕生日の4月25日前夜のライブラリーナイトから始まり、ドイツ児童文学者吉原隆志さんによる講演、缶バッジ工作会、パネル展示などを行いました。10月17日には、まちライブラリーづくりを全国的にすすめている磯井純充さんによる講演と横浜北部で本に関わる様々な活動を行っている3グループからの報告を伺い、本の楽しさや図書館の可能性・多様性を改めて認識し、多くの参加者の共感を得ました。
◆そして今年3月21日、一連の記念事業を締めくくるライブラリーナイトを行います。今度はマリンバ演奏とビブリオバトルです。ご期待ください。
◆都筑図書館の「二十歳」を図書館スタッフの方々と共に祝えることに感謝したいと思います。またファン倶楽部も、イベントを通して新たな会員を迎え、活動に広がりをもせつつあります。図書館と共に一歩一歩歩んでいきたいと考えています。

ライブラリー見学会のご案内
日時：1月16日(土)10:00~15:00
1. 草徑庵
磯子区に開設したまちライブラリー。自宅を半開きし、本とカフェのすてきな居場所です。
2. 横浜美術館美術情報センター
横浜美術館内にあるライブラリー。美術に関する図書や映像資料など収集されてひろく市民に公開しています。



絵:遠藤道子+BATAKA

《TDO事務局より》
みんなでやってきたこと。4月〜
区役所や都筑図書館、地区センターとの協働事業にはTDOのみんなで取り組んでいます。又3つの部会ではそれぞれ独自の活動の場も広がってきました。
◆都筑図書館20周年記念事業に参加。
「ライブラリーナイト」4/24
「シンボジウム 未来につなぐ・本のあるまち」10/17
◆都筑図書館事業
「春の特別おはなし会」5/16
「朗読会 八月の光」8/15
「夏の特別おはなし会」8/22
「秋の特別おはなし会」11/21
◆「つづきこまつり」6/28区民ホール
◆「リユース図書回収」(3R費に協力)10/10
◆「赤ちゃん絵本講座」
北山田地区センター6月〜7月全3回
中川西地区センター9月〜10月全3回
都筑地区センター(1回のみ)11月
◆つづきおはなしフェスティバル参加
11/28 都筑地区センター
【学校部会】
第5回学校図書館ボランティア大交流会
12/9 区役所6F大会議室

つづきこ読書応援団 (TDO=つどおう)は..
ファン倶楽部主催の講座受講生が中心になって2011年発足。「都筑区の子どもの読みたい気持ち・知りたい気持ちを高めるため、読書環境の改善を図る」を目的に、3つの部会で活動しています。

【勉強部会】
「マドレーヌ絵本勉強会」毎月第1木
「パパと一緒に絵本であそぼう」
11/29 北山田地区センターにて
【企画部会・JiJi-BaBaおはなし隊】
「北山田地区センおはなし会」隔月
「ここぼっぽおはなし会」毎月
「図書館で読んであげますよ」隔月第3土
「長野ヒデ子さんとあそぼう」
原画展-わらべ歌-絵本-紙芝居-外郎売他
6/6・7・8 都筑民家園
「地蔵まつり」9/13 タウンセンター地区
「子どもアート展」10/4北山田地区センター
「横浜読書百貨展」教育委員会主催11/1
【これからの予定】
1/19「おはなしボランティア大交流会」(区役所6F大会議室)
1/26~30「つづき人交流フェスタ パネル展示」(モザイクモール)
2/11「ぬいぐるみおとまりおはなし会」(都筑図書館)
3/5「わすれない3・11広場」センター北駅前
3/17~22「つづき人交流フェスタ パネル展」(区民ホール)
3/20「リユース図書回収」(区民ホール)
3/21「都筑図書館春の特別おはなし会」
3/21「20周年ライブラリーナイト」(都筑図書館)
TDO代表 三田律子

■私は地元町内会の会長をしています。住民数5200名、2750世帯、平均年齢36歳で、とても活発な方が多く住んでいます。図書館便りなどあれば掲示板に掲示したいのですが・・・。(鈴木)
■みゃーごたちの応援のため、初めて第17回図書館総合展に行ってきました。論文の巨大なデータベースに最新の耐震棚、洗練されたビブリオバトルも観覧でき、とても勉強になりました。(紗弥佳)
■ベランダ越しのエノキの葉がすっかり色も変わり、日々少なくなっています。枝の間合から富士山がよく見える季節になってきました。そして、鳥たちが残っている実をついばみにやってくる。木はいいなあ。(わ)
■児童養護施設の子供達と一緒に作った絵本をいろんな人に紹介したり、直接施設におじゃましてボランティアらしきことをさせていただいたり、バタバタですがとにかく自分で決めた道を歩いています。(高原)
■対話によるコミュニケーションに関心が移り、ビブリオバトルから読書会、そして対話(哲学)カフェへと移行しています。深い対話から生まれる「気づき」、そこにフォーカスをして、次回は横浜開催を目指しています。(田中)
■2015年は、大げさに言えばわが人生の大きな節目であった。体の部品にガタが来ていたのは大分前からだったが、判断能力も対処能力もガタ落ちになった。これからは「かわいい年寄り」になろうと思うがさて新年は？(福)
■職場の人間関係で悩んで落ち込み気味。年内は休職することになりました。いろいろ悩みがある時に、図書館って本当にありがたいと思います。(溝)
■衣替で、処分したと思っていたパプル期の肩パットがアメフトみたいなスーツが出てきた。こんなの着てたのね、わたし(み)
■都筑区学校図書館ボランティア大交流会、今年も楽しかった。学校によっていろいろ違うけど、同じような悩みもある。5年間、毎年やってきて良かった。来年もやろう！(仁)
■勤務校の5年生に年鑑の使い方を学ぶ授業がやっとできた。まだ2013年版以降の4冊しかなく、公共図書館から10冊借りて二人に1冊用意。子どもたちはとても楽しそうに調べていた。公共の支援は不可欠です。(紀)
■『長生きするには〇〇を食べよう』といった情報は昔からよくあるが最近は糖質制限やローフードがはやるようだ。おいしい物は脂肪と糖でできてるが身体のためにせめて、まず野菜サラダから食べよう。(吉)
■緑道を歩いていると、水がちよろちよろと流れている小川がある。エッツの「わたしとあそんで」の女の子が座っているような気がしてくる。父が亡くなって3年。時の流れは速い。来年はどんな年になるんだろう。(annie)
■この秋、青森県八戸市のポータルミュージアム「はっち」、十和田市現代美術館、岩手県紫波町「オガール図書館」の見学が、建築家針生承一氏のガイドで実現した。9人参加、1泊2日の強行スケジュールは私が組み立てた。やればできる！(江)